

事業番号	事務事業名	単独 橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 2 年度課長名	安道 智秋
05062	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	藤田 広太郎
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単独事業により補修を実施する。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修繕事業を実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町道橋	ア 橋梁数	橋	見込 実績	441 443	441 441	441 441	441	441
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町道橋の適切な維持管理	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標 実績 達成率	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10	10
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 橋梁修繕工事発注	ア 整備件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	3 4 133.3%	1 1 100.0%	2	2
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		予算上の事業名					事業番号			
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		単独 橋梁整備事業費								
30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比					
国庫支出金						国庫支出金											
県支出金						県支出金											
町 債						町 債											
その他特財						その他特財											
一般財源	10,900	3,800	1,380	2,000	2,000	-2,420	一般財源	10,170	3,389	1,364	2,000	2,000	-2,025				
合計	10,900	3,800	1,380	2,000	2,000	-2,420	合計(A)	10,170	3,389	1,364	2,000	2,000	-2,025				
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間						20	10	10	10	10	10					
	人件費計(千円)(B)						68	35	33	34	34	-2					
最終予算額		1,380 千円		予算執行率		98.8%		トータルコスト(A+B)		10,238	3,424	1,397	2,034	2,034	-2,027		
主な 支出事業内容 (予 算)	委託料				880 千円				主な 支出事業内容 (決 算)	委託料				880 千円			
	工事請負費				500 千円					工事請負費				484 千円			

事業番号	05062	事務事業名	単独 橋梁整備事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	------------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
橋梁の老朽化に伴い車輛等の通行において危険度が増しており、通行に支障が出る恐れがある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
出来るだけ財源裏を模索し、単独町費の持ち出しを削減している。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町道橋の長寿命化が図られることで、車輛等の安全な通行が期待されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	
有効性 評価	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	
効率性 評価	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
公平性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	
目的 妥当性 評価	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	
有効性 評価	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠	
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 	
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題			

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)